

## 一般33

### 脳梗塞急性期t-PA治療施行率

$$\text{脳梗塞急性期t-PA治療施行率} = \frac{\text{分母のうち、A205超急性期脳卒中加算の算定数}}{\text{急性脳梗塞の患者のうち、血栓溶解療法(t-PA)がなされた患者}}$$

脳梗塞急性期t-PA治療施行率とは t-PAとは脳梗塞の原因となる血液の塊を溶かす薬剤です。脳梗塞発症から4時間30分以内(超急性期)に使用すると効果的と言われています。

指標の説明 t-PAは出血も合併する場合がありますので、CTなどを含めた検査により、脳梗塞の診断、全身状態についての診断を行ったあとに投与されます。より高い値を目指しています。

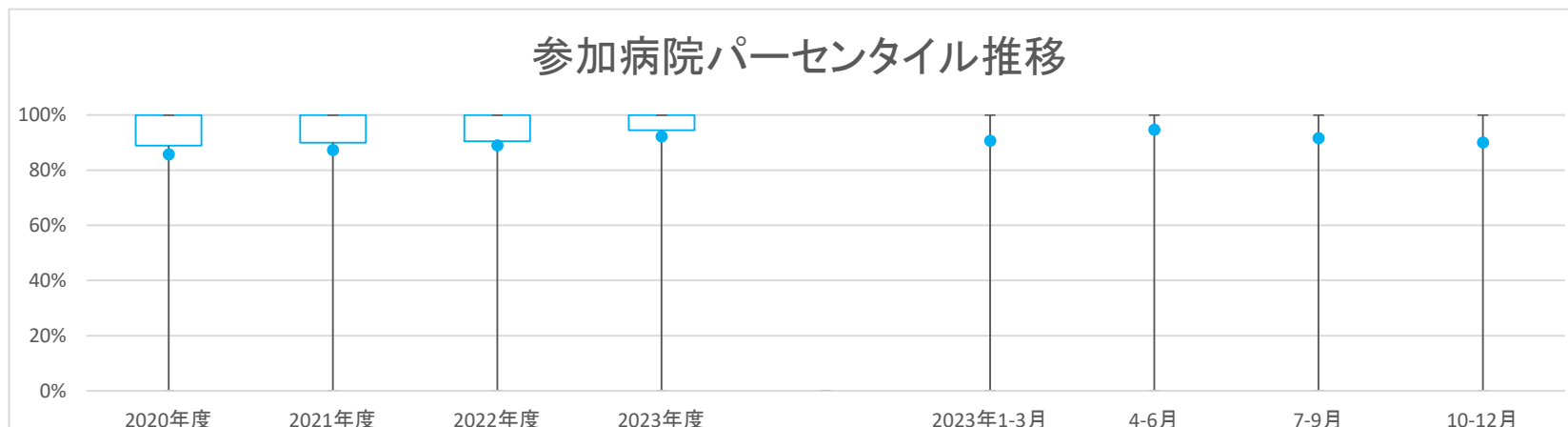
計算について	参考としたガイドライン等	日本脳卒中学会 脳卒中治療ガイドライン2015追補2017 <a href="http://www.jsts.gr.jp/img/guideline2015_tuiho2017.pdf">http://www.jsts.gr.jp/img/guideline2015_tuiho2017.pdf</a>
	データ除外	なし
	補正などの計算方法	なし
	データ基準日	2024年1月25日

一般33

脳梗塞急性期t-PA治療施行率

データのまとめ	対象病院群	精神科標榜なし、総合病院精神科無床、総合病院精神科有床							
	調査期間	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2023年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
	データ登録病院数	108	115	109	108	90	99	95	90
	分母合計	1914	1906	1977	1410	535	538	440	432
	75パーセンタイル	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	中央値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	25パーセンタイル	88.9%	90.0%	90.5%	94.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	平均値	85.8%	87.3%	89.0%	92.3%	90.7%	94.7%	91.6%	90.0%
	平均値(0を除く)	94.6%	93.8%	91.5%	95.0%	94.9%	97.6%	95.7%	95.3%

【時系列】 ●は平均値、他は上方から最大値、75パーセンタイル値、中央値、25パーセンタイル値、最小値 (2018年4月開始)



【直近データ分布】

